

# 中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

## 2017007石鎚山晴れのち曇り・・・藤原昭宏先生寄稿②

10:35 一ノ鎖小屋(1725m)通過、雪が少し溜まっているが、階段が見えている。

10:40 馬の背(1760m)に出る。前を行く2人は、二ノ鎖小屋手前の階段にいる。



11:00 二ノ鎖小屋(1805m)にて休憩・昼食 室内の気温-2℃ 暖かい紅茶を飲み、上衣を追加。

11:25 出発 直後のトラバースも歩きやすく、階段にも雪がほとんど無い。

11:40 三ノ鎖小屋手前の分岐(1880m)通過、鉄の階段が続く、霧氷も氷結も無い。

11:55 石鎚山弥山山頂(1974m)に到着。貸切状態、2人組がいない。天狗岳にでも行ったのかも？



20170107 弥山山頂より天狗岳方向



20130209 弥山山頂より天狗岳方向

福岡からやってきた青年？と会話する。ロープウェイの始発時間を理解できていなかった。

12:10 下山開始、夫婦の2人組、学生の2人組とすれ違う。

12:45 夜明し峠まで下り振り返る。雲が広がり、青さがなくなった。

前社ヶ森(1589m)の肩にある休憩所(1570m)にて、先の2人組を追い越すことになった。

13:15 八丁のコルまで下り上衣を脱ぐ。最後の登り返し「八丁坂」長さに由来である。

13:35 成就社(1400m)へ戻ってきた。白石旅館へ年始のごあいさつ。気温4℃。

13:55 石鎚ロープウェイ山頂成就駅(1280m)、アイゼンを外して手に持ってロープウェイへ急ぐ。

14:00 ロープウェイ出発 信者さん3名、家族ずれ2名、スノーボー2名と私が乗っているだけ。

14:20 石鎚ロープウェイ山麓下谷駅(430m)ここからの下りが足に伝わる。

14:30 西之川京屋駐車場(400m)出発、石鎚酒造近くの広場には「とうど焼き」の準備がしてある。

14:55 小松・氷見のマルナカにて荷物整理、こがねうどんにて栄養補給、帰路につく。マルナカのすぐ裏側に、愛媛国体クライミング会場(氷見運動公園)がある。

16:30 自宅に無事帰る。



石鎚山弥山山頂にてセルフ撮影

今回は雪が無い状態で、例年3月中旬の様子であった。霧氷の無い冬登山は残念であった。

初登頂は、昭和48年2月25日(高校1年)、44年目の冬の石鎚山を楽しみたい!

次は、2/4or5に登りたいと思っている。

#### 【藤原さんからのコメント】

石鎚山へは、冬の登山だけで100回ぐらい、年間を通じて多いときは10回、少なくとも3回は登っている。愛媛県の県総体・県新人大会の会場として、2年に1回は西条側(北側)、面河側(南側)の登山コースを利用しているので、自然に回数は増えています。

## 編集子のひとごと

藤原昭宏さんは愛媛松山工業の山岳部顧問。前全国高体連登山専門部副部長である。対比写真が極めて興味深い。さすが、高校時代以来、石鎚へは数百回という登山歴を誇る藤原さんならではのレポートと感服。

右の写真は2015年5月25日に小生が登った時の写真。時期は変われど、山は変わらずです。かわらばんが600号を迎えましたが、投稿も含め読者の皆さんのおかげです。(大西 記)

